

市部において照会回数の多い事案が多く、地方部において少ない傾向にあります。

〔年別・都道府県別集計表参照〕

- ・ 現場滞在時間が、30分以上に及ぶ事案は、全体の3%程度であり、30分以上60分未満が907件、60分以上90分未満が84件、90分以上が21件となっています。
〔表3参照〕

3 受入に至らなかった理由別の件数

- ・ 受入に至らなかった主な理由としては、「処置困難」(26.6%)、「手術・患者対応中」(17.2%)、「専門外」(11.7%)などがあげられます。〔表4参照〕
- ・ 照会回数最大事案の回数が10回以上であった都道府県における受入に至らなかった理由をみると、「初診(かかりつけ医がない)」を理由としている団体が多い傾向にありました(10団体中7団体が同理由をあげる)。〔表5参照〕

II 平成16年から平成18年までの傾向について

(本調査においては、集計不能の項目がある本部が存在し単純に経年比較を行うことはできないため、ここでは、全体に対する比率から推測できる傾向を示しています。)

- ・ 医療機関への受入に至らなかった照会回数が、3回以上であった件数をみると、平成16年255件(産科・周産期搬送全体の0.9%)、平成17年342件(同1.3%)、平成18年667件(同1.9%)と増加傾向にあります。〔表2参照〕
- ・ 受入に至らなかった理由について、平成16年から平成18年までの3年間の傾向をみると、「処置困難」、「ベッド満床」、「初診(かかりつけ医がない)」が増加傾向にあることがうかがえます。〔表4参照〕

総務省消防庁救急企画室

Tel:03-5253-5111(内7961)

Tel:03-5253-7529

担当:松野、小坂橋、中嶋

s.nakajima@soumu.go.jp

厚生労働省医政局指導課

Tel:03-5253-1111(内2559)

Tel:03-3595-2194

担当:田邊、日巻

tanabe-seizan@mhlw.go.jp

2007年(平成19年)12月28日(金曜日)

29病院に断られ死亡

大阪 89歳女性搬送2時間

大阪府富田林市で25日未明、救急車内で体調を悪化する。嘔吐などの体調不良を訴え、心肺停止状態となった。関係者によると、女性は富田林市や堺市、大阪市など府内10市の市立病院や29病院などに搬送されたが、受け入れを断られ、約2時間後に市外の病院で死亡した。富田林市は「これだけの病状に搬送を断られた例は聞いたことがない」として、処置を受けながら通信指

「濡床でベッドに余裕がない」などの理由で断り、中には「かかりつけ以外の患者は診られない」と言われ搬送したが、間もなく死亡した。死因は出血性ショックだった。この間、救急車は富田林市内に待機、隣接の同府河内長野市の病院が受け入れを承し、同6時40分に搬送したが、間もなく死亡した。死因は出血性ショックだった。

5救命病院「収容無理」

交通事故 搬送までに1時間 男性死亡

大阪

大阪府東大阪市で2日夜に交通事故に遭った男性が、府内の5つの救命救急センターから「満床」などを理由に受け入れを断られ、事故から1時間後に現場から約13キロ離れた同府吹田市の救命救急センターに運び込まれた後、死亡していたことがわかった。搬送した同府大東市消防本部によると、24時間態勢で緊急治療を担う救命救急センターに重篤な患者の受け入れを要請する場合、通常なら2、3施設目まで搬送先が決まり、「5施設も断られるのは極めてまれ」という。

河内書によると、亡くなったのは大東市灰塚4丁目のトラック運転手、西村正夫さん(49)。西村さんは2日午後10時20分過ぎ、バイクを運転して市道を直進していたところ、右折しようとした大阪市淀川区在住の会社員男性(28)の軽乗用車と衝突した。同乗は男性に当時の状況を聴いている。大東市消防本部によると、同10時33分に救急隊が事故現場に到着。西村さんは胸を強く打ってお

り、意識はあるものもろろろとしている状態だったため、命にかかわる重篤患者を受け入れる。次救急の救命救急センターでの治療が必要と判断。東大阪市や大阪市など現場から近いセンターから順に受け入れを要請したが、5施設に「満床」などと断られた。6番目に要請した大阪府済生会千里病院(吹田市)併設の千里救命救急センターで受け入れが決まり、救急隊が現場を出発したのは、事故から30分以上経過した午後11時ごろ。西村さんは同センターに同11時25分ごろ運び込まれたが、3日午前1時40分過ぎ死亡した。

現場から最も近い府立中河内救命救急センター(東大阪市)は当時、通常の夜間と同じく救急専門医を含む3人が救急の当直として勤務していた。しかし、2人の重症患者を治療中で、「これ以上の対応はできない」と判断して断ったという。西村さんの長男(27)は、搬送先の病院の医師から「到着時に意識がなかった」と説明を受けた。一近くで受け入れたら、手術が難しい状態でもらえなかったのは悔しいが、正当な理由があるのなら、あきらめるを得ない」と話した。

搬送1時間 男性死亡

大阪で事故、5病院が拒否

大阪府東大阪市で2日夜、交通事故に遭った男性が、府内の5つの救命救急センターで「満床」や「治療中」などを理由に搬送受け入れを断られていたことが3日、わかかった。男性は事故から約1時間後、現場から約15キロ離れた吹田市の千里救命救急センターに運ばれたが同日午前、死亡した。男性が断られた5施設は、いずれも生命の危険に瀕した人が運ばれる。次救急医療機関。最終的に搬送受け入れを要請したが、5施設に「治療中」や「救急ベッドが満床」などの理由で断られた。約30分後、吹田市の救命救急センターで受け入れが決まり、発生から約1時間後の午後11時35分に運び込んだが、翌3日午前1時40分ごろ、死亡した。搬送が遅れたことと死亡との因果関係は、はっきりしないという。事故は2日午後10時20分ごろ、東大阪市内の交

1/4 (金) 朝日

月~金 朝6:00-8:30
上柳昌彦の
お早うGood Day!
AM 5:24 ニッポン放送

差点で、西村さんのバイクが、右折しようとした大阪市の男性(28)の軽乗用車と衝突した。現場から最も近い東大阪市の府立中河内救命救急センターは当時、救急専門医を含む3人の医師が当直勤務していたが、2人の重症患者を治療中で、「これ以上の対応は無理」と断った。救急医療機関は患者の病状に応じて1次、2次、3次に分けられ、生命の危険があり高度な医療が必要な場合は3次とされる。大阪では12月25日にも体調不良を訴えた富田林市の高齢女性が30病院に受け入れを断られ、死亡したばかりだった。

11病院に断られ死亡

清瀬 救急搬送の95歳女性

東京都清瀬市で今月8日、自宅で体調を崩し、救急搬送された無職女性(95)が、近隣の11病院に診察を断られ、12番目に受け入れた病院で死亡していたことが23日、分かった。

1/23 朝日 (97日) 14

11病院断られ95歳死亡

救急搬送 清瀬 遺族「悔しいし、ひどい」

東京都清瀬市で今月8日夜、自宅で体調を崩し、救急搬送された無職女性(95)が、近隣の11病院に診察を断られ、12番目に受け入れた病院で死亡していたことが23日、分かった。

38

受け入れを 11病院拒否
 東京、95歳女性死亡
 今月8日、体調を崩し、救急車を要請した東京都清瀬市の女性(95)が11の病院から受け入れを断られ、12番目に受け入れた病院で死亡していたことが23日、分かった。

「患者がいつかは」などの理由で11の病院に受け入れを断られた。約30分後に救急隊が駆けつけたが、「重症患者の手術中」などを理由に断られた。約三十分後、十二番目の市内の病院が受け入れ、治療したが、女性は死亡したという。

まで59分かつた。東京都清瀬市で今月8日、自宅で体調を崩し、救急搬送された無職女性(95)が、近隣の11病院に診察を断られ、12番目に受け入れた病院で死亡していたことが23日、分かった。

産経 1/24 28

東京(97日) 1/23

11病院が拒否 95歳女性死亡
 清瀬、搬送に30分
 東京都清瀬市で今月上旬、心臓の病気で救急搬送された無職女性(95)が、11病院から受け入れを拒否され、通報から約一時間半後に死亡していたことが二十三日、分かった。

11病院が受け入れ断る 東京・清瀬、95歳女性死亡

東京都清瀬市の無職の女性(95)が8日、自宅で体調を崩し、119番を受けた東京消防庁清瀬消防署が救急搬送したが、近隣の11病院に診察を断られ、12番目に受け入れた病院で死亡していたことが23日、分かった。

東京都清瀬市によると、8日午後9時半ごろ、女性は自宅で「胸が痛い」と訴え、同居の長男(50)が119番。救急隊は約3分後に到着し、搬送先を探したが、11病院から「患者がいっぱい」などの理由で受け入れを断られたという。

女性は12番目の病院で応急措置を受けたが死亡。この病院に運ばれたのは、救急隊の自宅到着から49分後だった。

【共同】